

アセスメント

登録後、求職中の方には、就労準備性を確認
するため、アセスメントを行います。

アセスメントとは、得意なこと、不得意なことを確認し、合理的な配慮を求めるための材料
になります。

アセスメントの方法は次ページの通りです。



ほうほう 方法



○センター実習^{じっしゅう}

とう センターに(原則)5日間通い、^{げんそく} 軽作業、^{かかん かよ} PC作業、^{けいさぎょう} MWS、^{さぎょう} マナーチェック就労準備講座等を行い、^{しゅうろうじゅんびこうざ など おこな} 得意な^{とくい}こと、^{ふとくい}不得意なことを^{はあく}把握します。

※^{げんざいかんせんしょうたいさく} 現在感染症対策のため^{さぎょうしょ} 作業所での^{じっしゅう ちゅうし} 実習は中止しております。

○雇用促進センター^{こよう そくしん}

かながわけん ^{しょうがいしゃこようそくしん} 神奈川県障害者雇用促進センターにて、^{しよくぎょうのうりよくひょうか おこな} 職業能力評価を行います。

かながわ ^{ばん} 神奈川版ワークサンプル^{さぎょうけんさ} 作業検査、^{こうせいろうどうしょうへんいっばんしよくぎょうてきせいけんさ} 厚生労働省編一般職業適性検査、^{まくはりばん けんさ} 幕張版OA検査を用いて^{もち}ワークスキルの^{おこな}アセスメントを行います。

○横浜市の職場実習事業^{よこはまし しよくばじっしゅうじぎょう}

よこはまし ^{けんこうふくしきょく} 横浜市健康福祉局からの^{きょうりょくいらい} 協力依頼により、^{とうろく} 登録した^{きょうりょくじぎょうしょ} 協力事業所への^{じっしゅう おこな} 実習を行います。

^{せいそうぎょうむ} 清掃業務、^{じむ} 事務補助、^{ほじょ} 軽作業、^{けいさぎょう} 商品陳列などの^{しょうひん ちんれつ} 作業を行い、^{さぎょう おこな} 就労準備性を^{しゅうろうじゅんびせい} 確認します。^{かくにん}

※^{ねん} 2020年4月現在 ^{がつげんざい} 協力事業所は^{きょうりょくじぎょうしょ} 74事業所 ^{じぎょうしょ}

 こべつ しえん けいかく **個別支援計画** 

アセスメントをもとに、個別支援計画こべつ しえん けいかくを立てたます。

**就労準備性しゅうろう じゅんびせいが整ととのっている方は就職活動かた しゅうしょくかつどうを開始かいしするための計
画けいとなります。**

就労後しゅうろう ごとの定着支援ていちゃく しえんも支援計画しえん けいかくに沿そって行おこないます。

**一方いっぽうで長期的な課題ちょうきてき かだいが見受けられる人は、福祉サービスみう ひと ふくしな
どの就労準備性しゅうろう じゅんび せいを整ととのえる場所ばしょを紹介しょうかいすることもあります。**